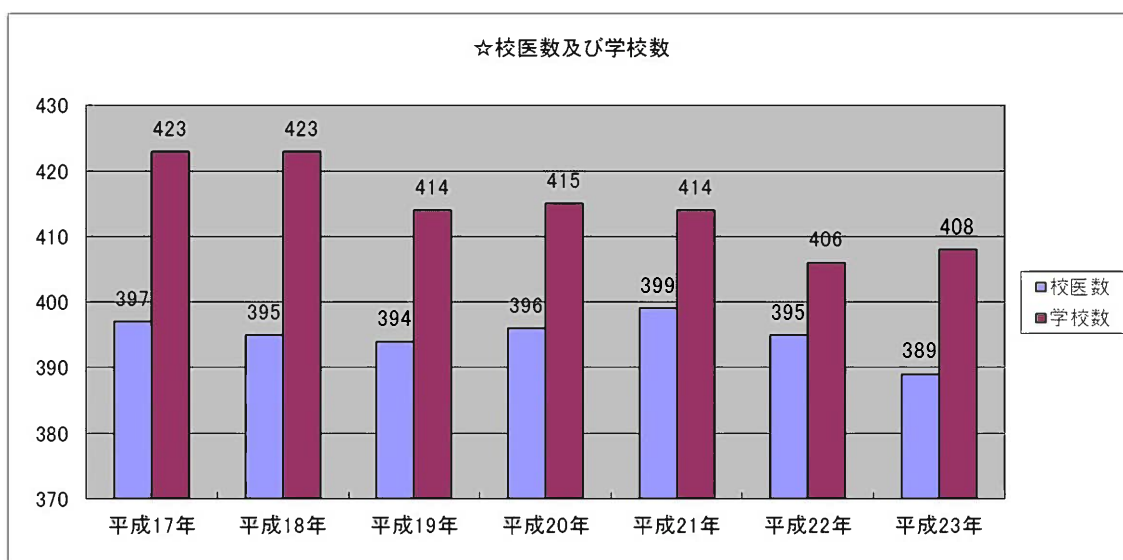


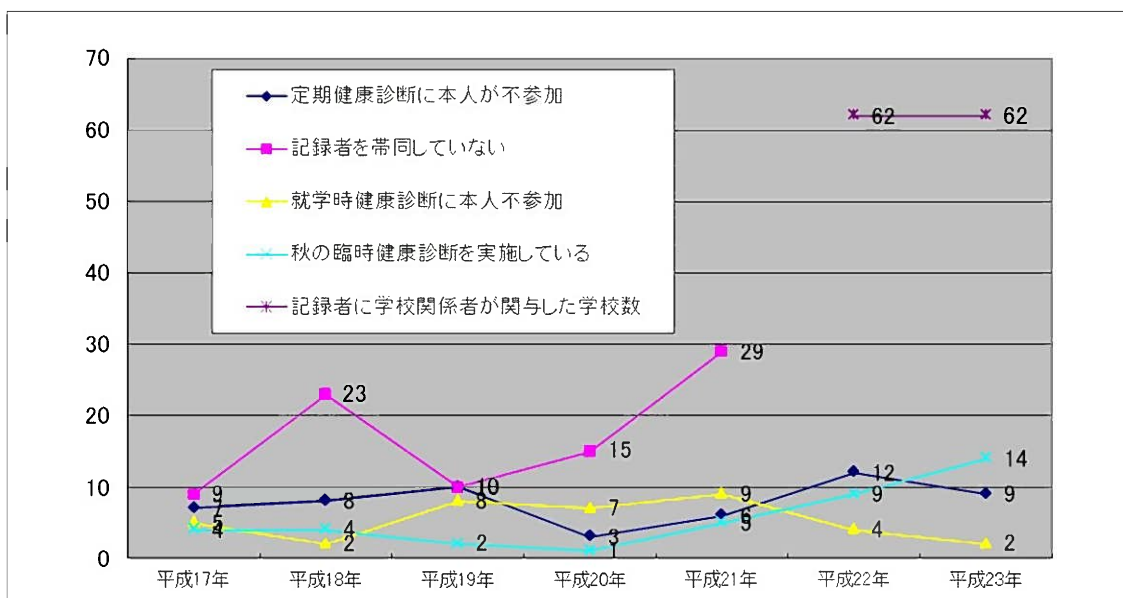
「平成17年～平成23年 学校歯科医活動報告書」の総括

「平成23年 学校歯科医活動報告書」も去年に続き最終的に札幌市立を担当している学校歯科医389名全員より提出をいただき、誠にありがとうございました。活動報告書の提出を求めて以来、過去9年間すべて100%の回収率を達成しております。しかし、今回の報告書においても、未記入や不正確な報告がまだ見られます。「記載要領」をよくお読みになって記入してください。

「学校歯科医活動報告書」は、アンケートではなく、個々の会員の1年間の活動内容を報告していただくものです。これは、本会が個々の学校歯科医の活動状況を把握し、学校歯科保健の質的向上、及び毎年行われる学校歯科医の推薦などの本会事業の参考とするもので、報告内容は正確に、全てを記載していただかなければなりませんので、会員の先生方にはよろしくご協力の程お願いいたします。



1. 定期・臨時・及び就学時の健康診断の実施報告



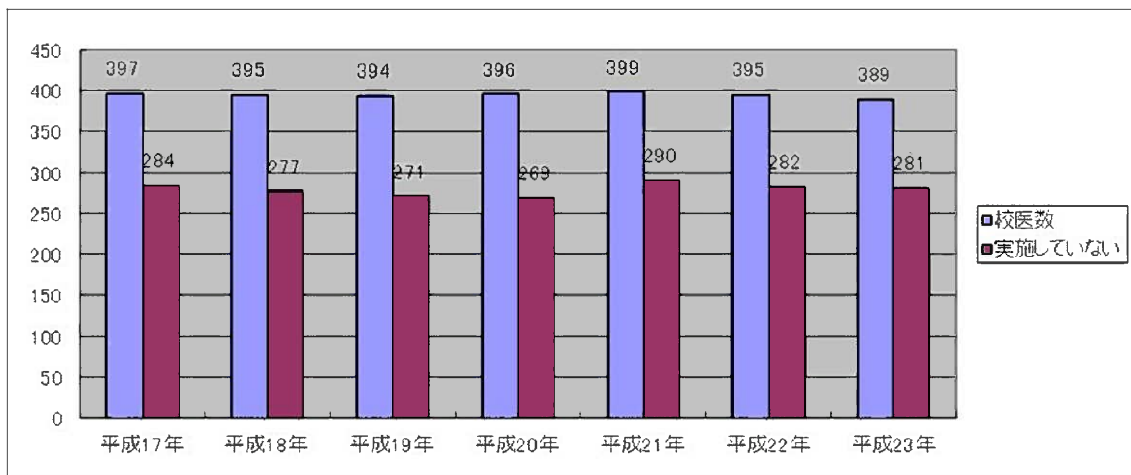
平成23年は定期健康診断を協力医だけで実施し、ご本人が参加していないとの報告が9名ありました。札幌市教委や学校現場からも同様の報告を受けています。健康診断は、児童生徒の歯・口腔の疾患・異常の早期発見と健康状態の把握および保健教育・保健指導を行う絶好の機会であり、学校歯科医の職務として法的にも規定されていますので、健康診断には担当学校歯科医本人が必ず参加してください。

尚、平成22年度より、札幌市立学校では健康診断時の記録者の帯同が義務ではなくなりましたが、帯同した場合には、帯同手当1名分が学校から直接、本人に支給されることになっています。支払い方法は現金振込、図書券等のプリペイドカードなどさまざまですが、これは年に一度定期健康診断の時に支払われるもので、臨時健康診断、就学時健康診断の際には支払われませんので、ご承知置きください。また辞退されている先生方がおられますが、健康診断時には既に市教委より学校側に支払われており、学校側もその扱いに苦慮しておりますので、辞退はされないようお願いいたします。受け取り頂けない場合は市教委に返却することになります。

ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

(電話 011-511-1543)

2. 歯科保健活動の実施報告



	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
※実施していない	284	277	271	269	290	282	281
講 話	44	56	43	35	52	50	62
健康相談	39	49	30	28	29	54	39
集団指導	28	32	33	24	34	36	42
個別指導	33	66	32	32	40	42	39
口腔清掃指導	63	98	51	51	76	86	76
その他	10	15	20	12	14	5	15
その他の活動							
レポート、レジメ配付、学校だより、通信、文書にて質疑応答、はみがき実習学習、保健だより、歯科ドック							

歯科保健活動は少しずつではありますが増加しています。このまま増加してくれることを望みます。学校とのコンタクトを積極的にとって下さるようお願いいたします。

「歯・口の健康づくり推進指定校」2期6年指定を受けた定山溪小学校の実践活動をまとめた冊子、DVDがありますので参考にしたい先生方は事務局までお問い合わせください。

3. 総会、研究大会、研修会等への参加報告

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
※参加していない	284	320	312	238	246	228	253
学校歯科医会研修会(冬)	52	40	43	47	43	-	-
学校歯科医会臨時総会	27	21	26	43	38	-	-
札幌会通常総会(予算総会)	-	-	-	-	46	48	39
新学校歯科医オリエンテーション	22	14	23	29	18	19	20
学校歯科医生涯研修制度基礎研修会	-	-	-	68	75	75	48
札幌会通常総会(決算総会)	-	-	-	-	41	36	30
学校歯科研修会(夏)	57	44	44	56	54	66	42
学校歯科医会総会	27	25	28	52	-	-	-
北海道学校保健研究大会	7	19	21	8	3	3	5
北海道学校歯科保健研究大会	27	20	8	33	30	26	26
全国学校保健研究大会	5	3	4	5	4	2	2
全国学校歯科保健研究大会	3	2	2	6	2	4	2

学校歯科研修会は学校歯科医のレベルUPや実践活動の参考になるよう行われております。是非ご参加ください。新任の学校歯科医の先生は、新学校歯科医オリエンテーションには必ず出席してください。また、札幌歯科医師会総会にも多くの先生方に出席いただき、ご意見をいただきたいと思っております。

4. 学校保健委員会開催の有無

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	
開催の有無不明	213	223	235	233	225	258	256	
開催していない	143	117	123	124	113	88	92	
開催している	(出席)	18	24	16	15	20	26	31
	(欠席)	35	38	29	37	39	30	21
未記入	20	20	10	6	17	4	8	

学校保健委員会は、平成9年の保健体育審議会の答申に「学校における健康の問題を研究審議し、それを推進するための学校保健委員会の設置を促進し、その運営の強化を図る事が必要である。」とあり、学校保健安全計画の適切な策定と組織的な実施を行うために設けられております。

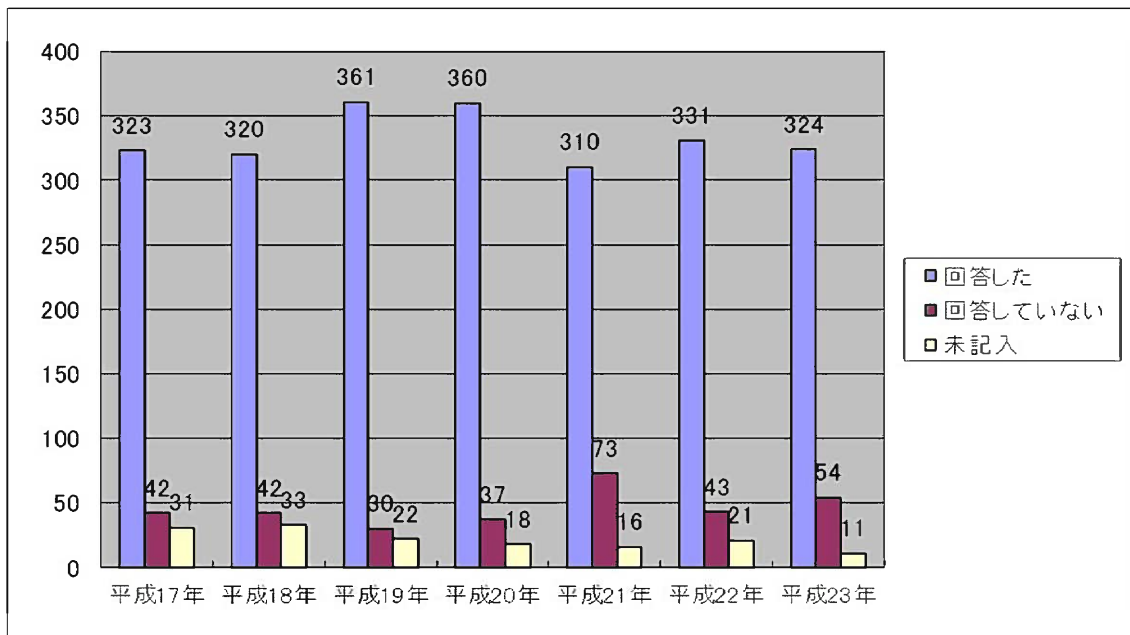
札幌市教委の調査では、小学校の90%、中学校の70%で設置され活動しているとされています。学校より案内があった場合には必ず出席してください。また、本会では市教委との会議や札幌市学校保健会の場において学校保健委員会の設置の充実を働きかけております。

5. 学校行事への参加報告

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
※参加していない	298	316	302	298	321	298	309
入学式	20	26	26	17	19	25	22
卒業式	24	24	21	13	19	22	20
運動会・体育大会	55	58	53	47	49	47	44
学校祭・文化祭	47	41	36	34	34	32	32
記念式典	27	20	16	16	16	16	13
公開授業	-	-	-	-	8	8	15
その他	13	9	15	8	8	12	13
その他の参加行事							
PTA事業 学校評議員会 学習発表会 学校区委員会 祝電等 他							

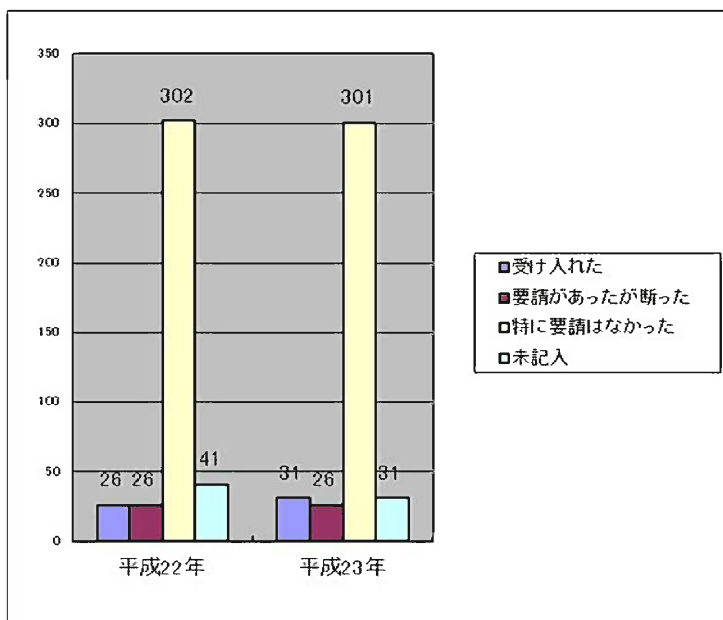
学校歯科医として学校および学校関係者とのコミュニケーションを図るにはよい機会ですので出来るだけ参加してください。

6. 学校歯科に関するアンケート報告



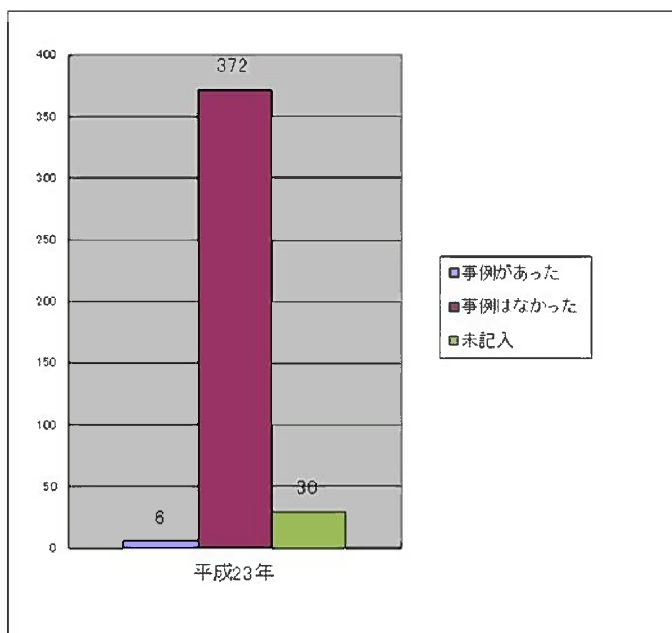
調査・研究部では経年的にデータを収集しています。これまでは、アンケートに秋の臨時健康診断、就学時健康診断に関する設問を含むことから、11月下旬に送付し12月中に回答していただいておりますが、H24年度からは、毎年10月に開催される「学校医(三師会)代表と養護教諭代表との懇談会」において会員の意見を反映すべく、定期健康診断が終わる6月末にアンケートを送付する予定です。回答していただきますようお願いいたします。

7. 中学校インターンシップ事業



昨年度より新設したアンケートです。昨年は109名でしたが、本年は全体で166名の中学生が体験しました。受け入れ側の戸惑いも見受けられますが、どのような内容で行うかのマニュアル、生徒に渡す記念品(歯ブラシ、デンタルリキッドジェル、プラークテスター綿棒タイプのセット)を用意しておりますので事前に事務局までご連絡をお願いします(記念品送付には2週間ほど必要です)。

9.児童虐待として疑われる事例



本年度より新設したアンケートです。歯科領域における虐待による問題点、口腔所見として身体的虐待とネグレクトがあげられますが、子どもの生活環境の情報を得ながら総合的に判断しなくてはならないので、養護教諭、校長に口腔所見として一つの情報を提供することは重要と思われます。

事例	対応
C3～C4 多数で放置状態	・養護教諭に受診を要請
歯科健診において数名の児童において、一般的には痛みでたえられないであろうと思われる事例、あるいは咀嚼に支障があるであろうと思われる事例が複数あったために、養護教諭を通して統括者である校長に伝えた。	・養護教諭・校長とミーティング・伝達した。
顔面が部分的に外傷や腫脹している部分が数ヶ所あった(単に転倒したとかという感じではなく)(確信はありませんでしたが)	保健の先生に報告した。
女子で上顎前歯カリエスにより4本(上顎左右1,2)ない状態の生徒あり、ネグレクトかと思われるが…	養護教諭に報告、親にも早期治療をうながすよう指示したが、学校側から、治療をすすめることは出来ないとのこと。治療は個人の自由?だから…
ネグレクトだと思われる。髪ボサボサ、はだし(靴をはいていない、校内で)、ランパントカリエス	5月の定期健診後、校長室にて養護教諭と校長との懇談の際、報告を行った。
3年間一度もカリエス治療しておらず、十数本のカリエスがあり食事に支障をきたしているようだった。虐待というより、ネグレクトか?	校長と相談し、保護者に注意。

9. 意見・要望

- フッ化物洗口については養護教諭を通して校長にも話をしました。インターンシップ事業についても参加しましたが、学校からの要請がありませんでした。両方とも気長に説明、話し合いが必要と感じました。
- 健康診断前に養護教諭により生徒さんに相談したいことがあるかアンケートをとっていただき、今年度は健診だけではなく、相談したいことを直接聞き、わかる範囲で答えるという取り組みをしました。それにより生徒さんがかかえている、心配や不安の解消もでき、また指導の指針にもなりました。時間の限界はありますが、ひきつづき、行っていきたいと思っています。
- 私が担当している中学はとにかく例年通り、2・3時間で終わらせてほしいという要望が強い。理由は時間がないとのこと。その為に大学から応援を3人頼み記録者も4人連れて行く。2,4,5など要請もないし、お誘いもない。他の中学は違うのだろうか。短時間内で健診だけやってもらいたいという希望だけが伝わってくる。
- インターンシップは生徒を通じて診療所の地域での信頼力の向上になる。
- 組合による洗脳が続いていると思われます。せめて学校長と養護教諭にはフッ素の正しい知識を教えるべく最新のファイルを渡しています。間違った人権主義による子供達の不幸がさらに広がりつつあります。
- 12歳児のみでも、健診結果の報告を会として要請してはどうか。
- インターンシップ事業が拡大し、多数の生徒が歯科に興味を持ってくれば良いと思います。
- 養護の先生が産休からカムバックし（2年間ブランク）また積極的に取り組んでいる。
- フッ化物洗口について、教諭からの相談が有ります。学校医会としての、統一のお答えを用意した方が良いと思います。
- 中学校インターンシップ事業には協力体制をとっているが、中学生よりも高校生の方が、より切実ではないだろうか？（高校へ行かない中学生は非常に少ない上、学校側もよりレベルの高い高校への進学を目指しているようである。就職先としての方向を考えていないようです。）
- フッ化物洗口を札幌市が行わないのは不可解である。札幌市の小学生は政治のせいで、カリエスリスクが高まっている。札幌市は北海道に従うべきである。
- 3日間午前中休診にして、しかも離れた学校で健診するのは少し厳しいです。
- フッ化物洗口、キシリトールの使用などもっと積極的に会として取り組むべきだと思う。
- 学校行事にもっと参加したいのですが、診療や自分の子供(小学生)の行事と重なることが多く出席できていないので現状です。学校保健活動は依頼があれば、ぜひやらせて頂きたいです。中学校インターンシップは受け入れ可能でしたが、今年（去年）は要請はありませんでした。今年はもう少し地域と関わりを持てるようにしたいと思います。よろしくお願いします。
- フッ化物洗口、インターンシップ事業については、次回の健診時に担当者とお話をする予定です。
- 学校歯科関連事業の発展が、これからの日本をささえる人材の身体に、大きな幸福をもたらすものと思います。頑張って活動していきましょう。
- 一部ではあるが、診療現場を学生にみせる上で、協力的な患者さんもいるが…。ほとんどの患者において（反応は様々だが）本音は自分が治療されているところは見られたくない！！ 学生の立場からは有意義と思うが、患者サイドからは迷惑な事ではある。患者に

協力してもらえらる啓蒙が同時にされないといけない事だと思う！！

●流行性耳下腺炎疑いの生徒がおり先生に報告するが、その後報告なし。学校側との温度差及び積極性に大きな差を感じる。こちらとしてはもっと対応とれるし、改善したいと思っているが…

●来年度(H24) 学校統合(南小と緑小がさくらやま小に統合) により児童数が倍増します。健診及び指導の質の低下が懸念されます。

●折に触れ養護教諭の歯科、口腔への知識の啓蒙を図っています。フッ化物洗口の有効性も話していますが、実施は各個人の保護者まかせです。

●食育教育についてももう少し指導徹底すべきでしょう。

●担当養護教諭が代わったので、コミュニケーションがとりづらかった。

●今年度より保育園にてフッ化物洗口を実施します。職員、保護者への講演(説明会)のスライド(Power Point)などの資料があれば、助かります。

●学校の教職員に積極性が歯科に対してほとんどなく、こちら側も「学生」よりも「教員」へ指導をしていかななくてはならないのか、今後不安が残った1年でした。「歯」と「健康」の大切な関係を重要に思っていない様子です。

●フッ化物洗口について「8020 条例」によって全道でフッ化物洗口が始まっています。札幌市でもまずは一校でも始めるべきではなかと思います。

●2011.11.15 和歯 8020 ワールド 「生き生き健康フェア」同時開催

●小学校でのフッ化物洗口には反対。

●学校より要請があれば歯科保健の講習等、いつでも行きますと伝えているが特に要請なし。

就学時健診当日来院できない子供で、健診うけたいという子供がいた時、後日診療所に来てもらい実施している。

●インターンシップを受ける以上は歯科医師会としてもカリキュラムを考えた方が良いと思いました。学校は丸投げでした。AMの見学を受け入れましたが、見学だけでは、歯科に興味をもってくれるかと思いました。e x. 施設、診療風景の見学、歯の話やセンターで作製したDVD見せたり、治療の実際ということで、エポキシ等を削ってI級の充填のやり方、実習をしてもらうなどはいかがでしょうか。

●フッ化物洗口事業には札幌歯科医師会として積極的に取り組むべきと考えます。札幌市内の小学校にもモデル指定校を2~3校。できうれば各区毎に1校以上設ける動きが必要と考えます。実現には役員と学校歯科医の努力と熱意が必要と考えます。